

平成 30 年度

国庫補助金 重要文化財美術工芸品「広島県草戸千軒町遺跡出土品」修理事業概要

1 文化財の名称

重要文化財「広島県草戸千軒町遺跡出土品」(所有者：広島県)

平成 16 年 6 月 8 日指定

2 事業目的・内容

広島県福山市の芦田川の河口で見つかった、鎌倉時代から室町時代にかけて営まれた港町「草戸千軒町遺跡」から出土した考古資料のうち、重要文化財に指定された 2,930 点について、保存と活用を図るために、特に傷みのある資料から、保存修理を行う。

3 全体の事業期間

平成 30 年度は、第Ⅲ期 5 か年計画（修理予定資料 27 点）の 4 年目に当たる。

今年度は、平成 30 年 4 月から平成 31 年 3 月にかけて、木製品 1 点、金属製品 2 点、漆器 1 点の保存修理を行う。

4 本年度総事業費及び補助金額

(1) 収入の部

(2) 支出の部

区 分	金 額	備考	区 分	金 額	備考
所有者負担額	円 1,221,000		(項) 修理費 (目) 委託料	円 2,321,222	
国庫補助額	1,221,000		(項) 事務費 (目) 旅 費 (目) 需用費	120,778	
合 計	2,442,000		合 計	2,442,000	

5 本年度の修理内容の概要

(1) 籠（指定番号 籠 1〔管理番号 25W00082〕）

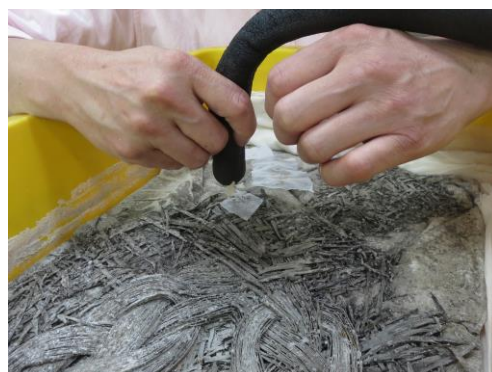
長さ 52.4 cm，幅 32.9 cm の木製の籠で、竹ひごを網代編みしており、一部に桜皮が残る。

発掘調査時に周囲の土と一緒に取り上げ、最下に布を敷いた状態でコンテナに入れ PEG（ポリエチレングリコール）水溶液に浸け、そのまま乾燥させている。本体は非常に脆弱で、繊維が浮いている部分が多い。

今年度の修理では、表面から遊離している細片を本体から取り外すとともに、周囲の布と表面の余分な PEG を除去し、表面のクリーニングを行う。本資料の保存修理には 2 か年必要であるため、次年度も引き続き処理を行う予定である。



修理前の状況



スチームによるクリーニング

(2) 飾金具 (指定番号 刀装具 19 [管理番号 43M00007])

幅 1.8 cm, 径 2.3 cmの銅製の飾金具である。

厚さ 0.05 mmの非常に脆弱な資料で、表面に錆が浮き、金属粉が多く出ている。一部に亀裂が入っている。

修理では、表面をクリーニングし、有機溶剤で洗浄する。その後、錆を抑える薬剤を含浸 (BTA 処理) 後、強化・防錆のための樹脂の含浸・塗布を行う。接合と欠損部分の補填後、樹脂を塗布し、表面処理や彩色などの仕上げを行う。本資料は、専用の支持台を作成する。



修理前の状況



クリーニング作業

(3) 鎌 (指定番号 鎌 2 [管理番号 23M00001])

長さ 16.6 cm, 幅 6.2 cmの鎌の刃部である。茎の下部と柄は欠損している。

鎌の刃 (金属部分) について、かつて接着剤で接合した箇所が緩んでいる。セメダインの劣化と考えられる。

修理では、表面をクリーニングし、有機溶剤で洗浄する。その後、脱塩処理を行った後、強化・防錆のための樹脂の含浸・塗布を行う。接合と欠損部分の補填後、樹脂を塗布し、表面処理や彩色などの仕上げを行う。



修理前の状況



補填・整形作業

(4) 漆器碗（指定番号 漆器 22〔管理番号 27L00002〕）

口径 15.3 cm，高さ 4.3 cmの漆碗である。内面は赤漆，外面は黒漆で，草花文が描かれている。現状は，2片に分離しており，表面は漆膜が浮き，剥離しかけている部分が多い。また，木地の割れ口部分が剥離している箇所がある。

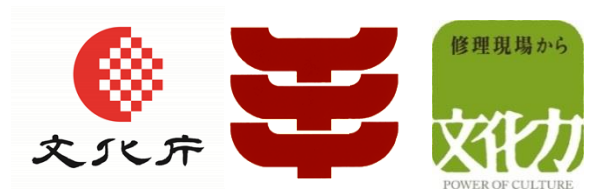
修理は，漆膜の剥落止めを行った後，分離部分を接合し，欠損部分を補填する。本資料は，専用の支持台を作成する。



修理前の状況



兔膠（うさぎにかわ）による剥落止め



本事業は，文化庁美術工芸品重要文化財修理事業国庫補助金の交付を受けて実施されています。
Supported by the Agency for Cultural Affairs.Government of Japan in the fiscal 2018